

校長室だより No.4

みんなが幸せなのが一番

7月3日からお札が新しくなります。20年ぶりにデザインなどが変わります。

新しい1万円札には渋沢栄一という人の肖像画が描かれています。

渋沢栄一は、「日本経済の父」とも言われ、銀行制度や株式会社制度を普及させた人です。NHK 大河ドラマ「青天を衝け」などによると、彼は幼い頃からお母さんに「あんたが嬉しいだけじゃなくて、みんなが嬉しいのが一番なんだ」と言って聞かされて大きくなり、大人になってからも「俺ひとり満足でも、この家の商いがうまくいっても、この世の中みんなが幸せでなかったら俺は嬉しいとは思わねえ。みんなが幸せなのが一番なんだい！」と言って、日本中の人の生活を良くするために500もの会社を設立したり、600もの教育機関・社会公共事業の支援をしたりしたそうです。

「自分だけでなく、みんなが幸せなのが一番」という考えは、私たちも大事にしたいものです。先日も、全校朝会で児童のみんなとこの考えを千種小学校校歌の歌詞に照らし合わせてみました。校歌の歌詞には、設立当時のみんなの思いや願い、期待が込められています。「強い体に夢を抱き、こころ豊かに支え合い、ともに学んで生き生きと明日に進んでいこう」と歌っています。3番ともに「自分ひとりが」ではなく、「仲間たち」そして「みんなの千種小学校」とあります。渋沢栄一さんの「みんなが幸せ」に通じているように思います。

みんなの千種小学校。－ 「自分ひとりが進んでいくのではなく、みんなの嬉しい気持ちを大切に」仲間とともに明日に進んでいきたいと思えます。

令和6年7月2日

千種学園

宍粟市立千種小学校長 上山 昌秀